

特集

子どもも大人も

ワクワクする場所

今月の表紙



取材でお伺いした日は、保護者参観週間でもあり、園内はにぎやかでした。子どもたちは私たちをすぐに仲間として受け入れてくれて、いっぱい遊びに引き込んでくれました。

幼稚園教諭が初めての受賞！ ティーチャーオブティーチャーズ

皆さんは、「ティーチャーオブティーチャーズ」と呼ばれる称号があることをご存じですか。

茨城県教育委員会では、さまざまな教育活動において、創意にあふれた指導を行うとともに、人格・見識ともに優れ、他の模範となる教職員や組織を「優秀教職員(個人・組織)」として表彰しています。その中でも、特に継続的な実践で効果を上げ、かつ、他の教職員の指導力向上にも寄与している教職員には、「ティーチャーオブティーチャーズ」の称号が与えられます。令和6年度は、20の優秀教職員(個人・組織)の中から、4人が「ティーチャーオブティーチャーズ」を受賞。その中の一人として、根本和典主幹教諭(村松幼稚園)が幼稚園教諭としては初となる「ティーチャーオブティーチャーズ」の荣誉に輝きました。



根本 和典
(ねもと かずのり)

昭和54(1979)年生まれ、東海村出身。中学校の授業で保育所に行ったことをきっかけに保育士を志す。今思い返すと、幼稚園のときに大好きだった「小島先生」の影響も大きい。

【受賞に至った実践内容】
幼児教育の質の向上を目指し、「主体的・対話的で深い学び」をテーマに実践研究。大学等や村内外の研修等で講師を務めている。村の男性保育士・幼稚園教諭らによる任意団体「ファニーズ」を設立し、読み聞かせや寸劇を通して、絵本の楽しさを伝えたり、父親の子育て参加のきっかけづくりに寄与したりしている。

受賞した感想を教えてください。

実は、推薦されるという話を聞いたときは、お断りしようと思っ
ていました。評価していただいた実績は、私個人だけで実現できたわけではありません。一方で、村の幼児教育・保育の現場に光が当たってほしい、という想いもあり、最終的には推薦を受けました。今回の受賞は、職場の仲間や保護者の皆さん、そして何より、子どもたちとの出会いに恵まれているからこそだと思っています。「村松幼稚園はすごいぞ!」、もっと自慢したいです。

子どもたちとの時間で大切にしていることは何ですか？

毎日、クラスみんなで集まって

「友だちと話す、話を聞く」時間を大切にしています。遊びや絵本などを通して発見したこと、学んだことをみんなで共有することによって、自分が経験していないことも知ることができます。「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、子どもたちの好きな遊びを充実させることを意識しています。

東海村の幼児教育・保育の強みをどのように捉えていますか？

現場の想いに対して、役場や教育委員会が寄り添ってくれていると感じています。保護者の皆さんや地域の方々も含め、子どもたちのためにみんなが同じ方向を向いて進んでいます。

私の役割は、保護者と幼稚園、地域と幼稚園など、いろいろな主体をしっかりつなぐことだと考えています。

最近の子どもたちとのエピソードを教えてください。

昨年の夏の出来事です。令和6年1月に石川県で発生した地震の被害を見た子どもたちが「助けに行きたい」と言い出しました。「そんなの無茶だよ」と言ってしまうほそれまでですが、何かできることはないかと、子どもたちと一緒に考えました。その結果、自分たちで支援金を稼ごうとバザーをや

りました。売り上げで自分たちの好きな大型絵本を買い、石川県の幼稚園に送りました。それが縁となって、手紙のやり取りが続いています。子どもたちの想像力や発想はすごいと感じました。

今回評価された取り組み「ファニーズ」について教えてください。

「ファニーズ」は、平成27年に立ち上げた男性保育士・幼稚園教諭などで構成する任意団体です。「休日にも子どもたちに会いたい」という気持ちがあり、村立図書館で絵本の読み聞かせを行うことから始めました。今では、イベントの主催や東海まつりへの出展など、活動の幅を広げています。子どもたちや保護者の皆さんが喜んでくれるのがうれしくて、頑張ることができています。当時は少なかった男性保育士が褒められる・認められる機会をつくることもできました。

これからチャレンジしてみたいことはありますか？

飛び込みで近所の公園に遊び場をつくってみたいと思っています。昔のフラットややって来る紙芝居屋さんみたいな(笑)。遊びに夢中になっている子どもたちの輪に入っ
て、一緒に遊ぶ。そんなライブイベントのような遊び場をつくってみたいですね。

大好きな子どもたちへのメッセージをお願いします。

常に常識を疑ってもらいたいです。私は、大人の言うことが全て正しいわけではないと思っています。「本当?」「何で?」という気持ちで検証してみることを大切にしたい。自分の目で確かめたことを信じてください。

私は、いつまでも子どもたちとの時間を面白がる大人でいたいんです。子どもたちの笑顔やスキップしながら登園する姿からは、ワクワクの気持ちを感じることができ、最高にうれしい気持ちになります。これからも、子どもたちと一緒に、常にワクワクする場所をつくり続けていきたいですね。

